

月刊100周年 医学部に強い  
保存版 高校ランキング

# サンデー毎日

大正11年3月31日第三種郵便物認可 2022年5月1日発行  
1101巻第22号 通巻5725号 毎週火曜日発行(4月19日発売)

増大号 450円

5.1 2022

珠城りょう  
香取グロリア&  
インタビュー7P

大坂なおみ  
「母」の独白

「鎌倉殿」を  
楽しむ  
10のツボ

ウクライナ侵攻・生活危機…  
田原総一朗が  
公明党・山口代表を直撃!

「5月」大危機に  
とにかく  
家計大防衛  
こう備えよ!

親鸞は本当に解体が好きな人なんです

吉本隆明

写真：竹内幹

いま、あらためて刺激的

これは『最後の親鸞』からはじまりの宗教へという中沢新一さんとの対談の中に出てくる吉本隆明の発言の一節である(『中央公論』/二〇〇八年一月号所載)。

この言葉を受けて中沢新一は、「壊し屋ですね。(笑)」

と応じて両者の丁々発止の討論が展開される。中公文庫の『親鸞の言葉』に収録された記録で、抜群におもしろい文章の構成は、前半が吉本の文章、後半が親鸞をめぐる三つの対話」となっていて、それに鮎川信夫、佐藤正英、中沢新一のお三方との対談を加え、解説を梅原猛さんが書いている。故人の梅原猛に「さん」をつけたのは、以前、京都でご馳走になったことがあるからだ。

梅原さんは番外編の雑談を楽しむ風流人だった。この本の巻末の解説でも、対談のあとの店で「この人の職業は何と思うか」と吉本のことをたずねたら、「剣豪小説の作家でしょう」という答えが返ってきた話などが出てくる。

中沢新一さんとの対話では、若い中沢のほうが大人びた感じで舞台回しをつとめ、吉本のほうが書生っぽく拙々<sup>とろとろ</sup>と熱心に語っている気配が刺激的だった。

『教行信証』についての吉本隆明の感想、また『和讃』に関する指摘など、疑問に思うことも少なくないが、これらの問題に関して、もっと活発な議論が展開されるべきだと思わずにはいられない。

オゾンミスト発生器  
**MINanoO<sub>3</sub>**  
ミナノス Mist Nanobubble O<sub>3</sub>  
MODEL:MNS1

**ウイルス不活性化** & **トリプル効果** & **消臭** & **加湿**

京都大学ウイルス・再生医科学研究所  
野田教授グループによる  
ミナノス ウイルス不活性化試験結果

新型コロナウイルス  
使用したウイルス株 (SARS-CoV-2/Hu/DP/Kng/19-027)

水道水	ミネラル水
4025	3319
10ND	10ND
1*(0.24ppm)	(0ppm)
水道水 オゾン処理 (5.16ppm)	ミネラル水 オゾン処理 (9.6ppm)

99%以上  
不活性化

※オゾン水はマルナカ「ミナノス」にて生成

製品紹介動画 マルナカHP

製品の詳細はホームページをご覧ください

株式会社 マルナカ 検索

https://www.marunaka-japan.co.jp/